

今回はきずな発行40号を記念して、土曜開放事業の粋のところを、笠岡の方言バージョンで記述してみました。笠岡育ちでない方、若い方には意味不明な言葉も多く、わかりにくいと思いますが、声に出しながら想像豊かにお読みいただけたらと思います。解読できないと納得がいかないという方は、生粋の笠岡育ちの人か私にお問い合わせください。なお、私は生粋の笠岡人ですが、歳を重ねるとともに、数年間県外で生活をしたり笠岡以外の多くの人とも交わってきていますので、他地域の方言も混ざっている可能性があります。ご容赦ください。

もうじき、親にとっちゃあちいと気が重てえかもしれんが、子どもにとっちゃあ、ぼっけえ楽しみにしとる夏休みが来るけえ、よう見てやっってください。子どもらが、元気よう事故ものうて、ええ夏休みになることをねごとります。

<学校土曜開放事業第1回目> 盆踊り&和太鼓の練習 流しそうめん



〔汗だくになって懸命に練習〕

PTA 幹事及び当番理事、神島公民館からぎょうさんの方にてごうしてもろうて、盆踊りの練習や流しそうめんを楽しんだんで。盆踊りじゃあ、「盆踊り保存会」の名人から踊り方と太鼓の打ち方をおせえてもろうたんじゃ。大人と子どもを合わせりゃ 200 めえもおったんで、体育館のなかあ、あちいゆうもんじゃなかつたで。じゃけどなあ、子どもは太鼓の打ち方や踊りがはええこともうなつたけえ、すげえなあと思うたで。8月15日の本番のときやあ、うめえことやるじゃろう。子どもんころから地元の伝統を受けちいでいってくれりや言うことねえな。ええ汗けえた後は、子どもらが一番楽しみにしとった流しそうめんじゃった。お父さんらががんばって作った竹の道のなかあ流れるそうめんを、子どもらがうめえことすくうて、いっぺえこと喰うとつたで。ようそがあに頬張れるなあゆうぐれえ口の中に入れとつた

子もおつたでえ。華厳ノ滝のように口から胃の滝壺までそうめんが一気に落ちていったんじゃあねえかと思うで。さぞかし、爽快じゃったじゃろうな。じゃが、いっぺえこと喰った子がおつたが、腹はでえ丈夫じゃったんかな？ちいと心ぺえになったが。何でもみんなで20kgも喰ったそうじゃ。よっぼどうめかつたんじゃろうな。めえ年のことたあ言え、お母さんにやあ調理をしてもろうたり、お父さんにやあ竹を切り出して竹の道をこさえてもろうたりして、てえへんじゃったと思うで。えれかつたじゃろう。じゃが、さすがじゃ。うめえこと作ったで。いつも無理ばあゆうてわりいが、そのおかげでみんなが楽しゅう過ごし、満足しとるんじゃけえ、けえからもよろしゅう頼んだで。



〔うめえ〕



音楽朝会

「被災地・被災者のもとへ 歌声届け！」

東日本大震災の被災地の復興を応援するために作られた曲「花は咲く」を、全校児童で歌いました。7月の音楽朝会に向けて、6月は、毎朝各教室から美しい歌声が校内に響いていました。テレビでは被災地出身あるいはゆかりの歌手やタレント、スポーツ選手等がリレー形式で歌っていますが、本校でも同じように、被災地でがんばっている人々のことを思い浮かべながら、ピアノとギターの手伴奏に合わせてソリスト26人がリレー唱を行いました。そして、その後全校児童と教員が気持ちを込めて斉唱しました。私たちの歌声がきっと被災地の皆さんの心に届いたことでしょう。



〔全員で斉唱〕

〔ソリストによるリレー唱〕

アマモの取り組み ・ ・ 岡山市で発表 伊藤さん & 藤井さん

瀬戸内のアマモ場再生に取り組んでいる岡山県、NPO法人、漁業者、学生、学校等が集まり、取り組み状況を発表したり、意見交換をしたりする会が岡山市でありました。本校から、二人の児童と担任が参加し、本校の取り組みの一端を大勢の参加者の前で紹介しました。発表した伊藤さんと藤井さんは、緊張しながらも堂々と発表をすることができました。当日参加されていた森中氏(神島寺間見崎浜づくり代表)から、「すばらしい発表だった」というご感想をいただきました。二人にとってよい経験になったことと思います。



〔神内小の取り組みをプレゼンする二人〕



〔交通安全を願いながら〕

「飛び出し坊や」のお色直し

流しそうめんの一週間前の土曜日に、上等な孟宗竹8本を切り出し、学校まで運んでいただきました。その後、各地区の危険な道路に置かれている「飛び出し坊や」のリニューアルを行いました。完成までもう少しです。暑い中、PTA 幹事の皆様、竹の準備とペンキ塗りをありがとうございました。休みの日にも度々行事やその準備のために、いろいろとお世話をいただいている PTA 幹事の皆様に、厚くお礼申し上げます。



